

広島子どものこころ支援ネットワーク 2024年3月定例研修会

(主催：日本学校教育相談学会広島支部)

(共催：広島大学大学院人間社会科学研究所附属教育実践総合センター)

テーマ：「4月から活かせる生徒指導・教育相談実践WS」

期日：2024年3月24日(日) 13:30~17:30 (13時から受付開始)

場所：【ハイブリット開催】

対面会場 広島大学東千田キャンパス地域連携フロア SENDA LAB

(日赤病院前、旧理学部跡地に新設された広島大学総合校舎L棟5F)

オンライン会場 Zoom 配信 (お申し込み後 URL をお送りします)

13:30~15:00 WS前半戦

WS①「新卒・若手のギモン、お答えします！」 講師：藤本浩行先生・中井俊之先生

4月から現場だけど、何したらいいの？、学級びらきってどうすればいいの？日々の授業準備は・・・？など、新卒や若手の先生からの疑問・質問を経験豊富な講師陣が何でもお答えしちゃいます！

WS②「MLAの4つの理論と協同学習」 講師：米田成先生

MLA(包括的生徒指導)の中核となる理論を具体的な実践として落とすには？

自らが協同学習・ピア・サポートを中心にMLAの実践に積極的に取り組んできた講師により、具体的な協同学習実践のポイントを体験的に学べます。

15:00~15:15 休憩

15:15~16:45 WS後半戦

WS③「こんな事例どう対応する？」 講師：山崎茜

学校で「あるある」だけど「ちょっと困る・・・」そんな事例にどう切り込むか？一見「難しい」事例での、子どもや保護者との信頼関係を築くポイント、切り込む質問の具体例などを体験的に学べます。

WS④「もう長引かせない！アセスメント会議の進め方」 講師：米田成先生

アセスメント会議(ケース会議)って、情報を共有して共通理解はできた(ような気がする)けど、結局2時間後、「難しいよねえ～」で終わってしまって明日からどうすればいいか具体的にはよくわからない・・・なんてことはありませんか？このワークショップでは、実際の会議を想定し、子ども理解から支援まで、1時間弱でどう効果的に会議を進めれば良いかを体験的に学べます。

16:50~17:30 海外視察報告：香港の生徒指導は今ここ！

包括的生徒指導ではアジアでずば抜けた体制を持っている香港。数年ぶりに実地での視察を経て得た成果を報告します。

申し込み方法：申し込みは下記の Google form からお願いします。

<https://forms.gle/3VNZSdCKtp4d2vda9>

参加費：年間費のみ。一般 3000 円，学生会員 2000 円（現職派遣院生は除く），教育相談学会員 1000 円
年会費納入で年間 6 回開催されるころネット研修会へ参加できます。（基本的に半日の研修のみ。

1 日研修や合宿タイプの研修の際には追加の費用が発生します。ご了承ください。）

銀行名：ゆうちょ銀行 店名：五一八 預金種目：普通預金

口座番号：0827879 口座名義：日本学校教育相談学会広島支部

ご不明な点はメールにてお問い合わせください。

広島子どものころ支援ネットワーク事務局 (hiroshima55net@gmail.com)

講師紹介

藤本 浩行（ふじもと ひろゆき）先生（山口県公立小学校教員）

新卒より，民間の教育サークルで学び，自らも「山口 GENKI 教育サークル」を主宰し，よりよい学級・授業づくりを追い求めている。平成 8・9 年度，現職教員として兵庫教育大学大学院学校教育研究科教育方法コースで，教材開発について研究する。その際，同様に埼玉県から派遣されていた栗原慎二先生と出会い，家族ぐるみでお付き合い。著書に，『新任教師 はじめの一步』（さくら社），『信頼を勝ち取る「保護者対応」』（明治図書）などがある。（この本には，プロローグとして，栗原先生に保護者とのよりよい関係の築き方を書いていただいている）平成 24 年山口県優秀教員表彰，平成 26 年文部科学省優秀教員表彰

令和 3 年退職後は，デュッセルドルフ日本人学校に勤務し，帰国後は再任用教員として，周南市公立小学校で 3 年学級担任として奮闘中！令和 6 年からは，地元で「富岡みんなの食堂」を立ち上げ，「食を通じて，人・学びの輪を広げよう」をスローガンとして，子どもの居場所作りや学習支援に力を注いでいる。理論と実践の架橋をめざしています！

中井俊之先生（広島市立小学校教諭，広島大学大学院博士課程後期）

1983 年広島県生まれ。2007 年広島大学教育学部卒業，2010 年同大学大学院教育学研究科博士課程前期修了。小学校教員 14 年目。公認心理師，学校心理士の資格をもつ。

協同学習やクラス会議，UDL(Universal Design for Learning, 学びのユニバーサルデザイン)を中心に実践を行う。基本的に飽きっぽいけれど，何でも凝り性。珍しく飽きずに書き続けた学級通信が，全国コンクールで優良賞を受賞。それを基にした著書に『子どもが主役の学級通信の作り方 小学校編』（学事出版）がある。

米田成先生（広島県・市 SC，広島大学大学院博士課程後期）

元大阪市中学校数学教員，広島市・広島県スクールカウンセラー。周南公立大学非常勤講師として「教育相談」を担当。大阪子どもも先生も楽しい学校づくりネットワークを立ち上げ，大阪と広島を行ったり来たりしながら子どもと先生のために奮闘中♪

中学校教員時代に学年主任として，「一生ものの仲間をつくる！」を目標に MLA による学年経営を実践。現在は SC として，校内に SEL を導入したり，効果的なチーム支援を実現するためのアセスメント会議を進めている。

山崎茜先生（広島大学教職大学院講師，広島市 SC）

博士課程在学中から SC として勤務し，博士課程終了後は広島大学附属教育実践総合センター「にこにこルーム」相談員として子どもや保護者のカウンセリングにあたる。

現在は教職大学院の講師として，現職院生，ストレート院生と共に理論と実践を往還中。モットーは「よく遊び，よく学べ」。子どもの育ちを社会がどう支えるか？が中心的興味。そのためにはやれることは全部やりたい ADHD 傾向と自分がどう付き合うか考え中！